

# 政 策 5

～病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします～

## 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

### 【めざしたい将来像】

市民一人ひとりが、どう生きたいか、どう老いるかを考えて生活を送るようにします。そして、自助・共助・公助を高めて、個人の尊厳を保ちながら生きられ、誰もが自立した生活を安心して送れるまちを実現します。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
日常生活に対して不安を感じていない人の割合	—	4.2%	3.6%	—	3%	3%
	3.6%	4.0%	3.6%	3.5%		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

32年まで、現状を維持することをめざす。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談件数	—	—	—	—	24,000件	29,000件
	—	16,827件	20,974件(h22)	21,102件		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

平成18年度～21年度の伸び率を基に29,000件の相談件数をめざす。

# 政策5

病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします

## 1.必要な時に介護が受けられます

### 1. 現況と課題

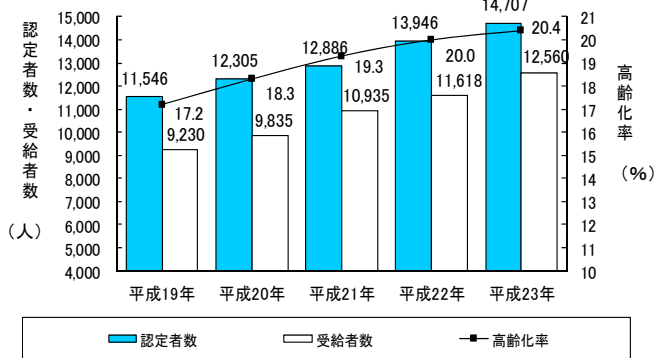
平成12年に介護保険制度がスタートしましたが、その間、急速に高齢化が進んでおり、それに伴い、利用者、費用が大幅に伸びています。また、高齢化は今後もさらに進展し、取り巻く環境はより変化すると考えられます。そのような中、人口減少社会が到来し、制度の持続性を確保しつつ、限られた財源の費用対効果を考慮しながら、予防重視型の体制を確立していくことが求められています。

また、障害者手帳所持者は年々増加しており、それに伴い障害福祉サービスの利用者、費用も増加しています。そのような中、障害のある人が地域で、より安心して暮らしていける体制を確立することも求められています。

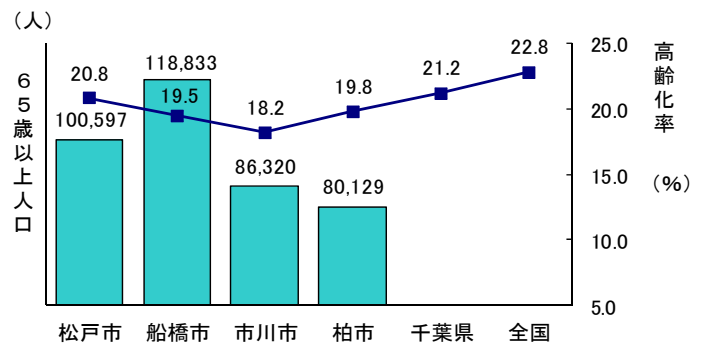
#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 高齢者やこれから高齢になる人が高齢になっても介護を必要とせずに日常生活を送ることが求められています（ニーズの増）
- ② 障害のある人が地域で自立した日常生活を送ることが求められています（ニーズの増）

#### ●松戸市の高齢化率と介護保険認定者数・受給者数の推移



#### ●高齢化率の比較

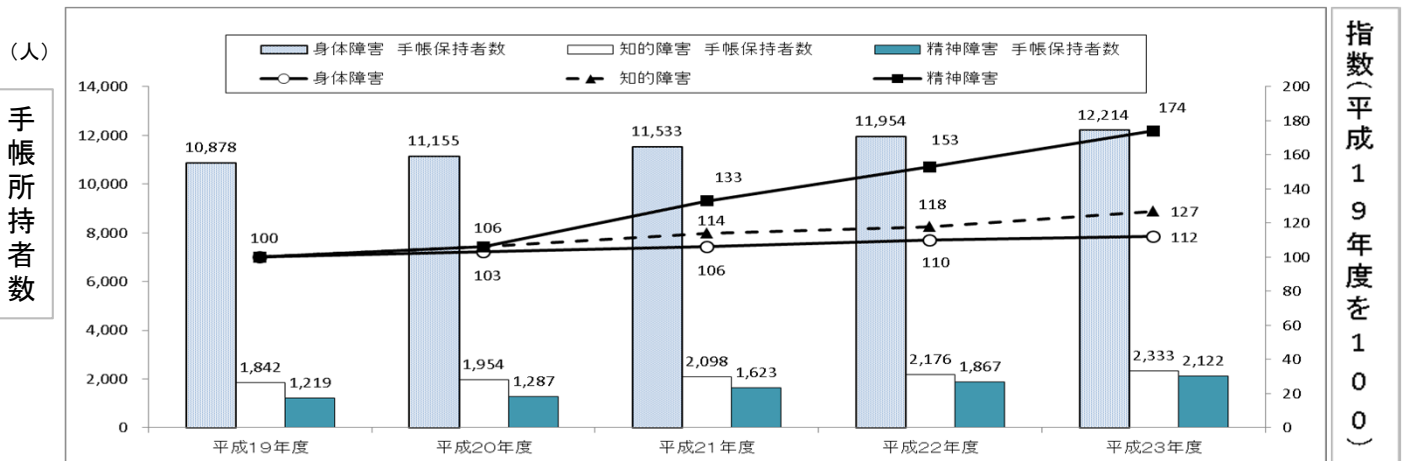


高齢化率は、各年4月1日現在（介護支援課資料）  
 出典：千葉県健康福祉部高齢者福祉課「千葉県高齢者人口統計」  
 介護保険認定者数および受給者数は、各年10月1日現在

出典：平成22年国勢調査をもとに作成

出典：障害福祉課作成資料  
 H19以降の数値は4月1日時点のもの。  
 指数は平成19年を100とした場合

#### ●松戸市における身体障害・知的障害・精神障害のある人の推移



## 2. 施策の展開方向

高齢者が、できる限り、要支援・要介護状態になったり、重度化したりせずに、いつまでも元気に暮らせるように、「予防重視型システム」を推進します。しかしながら、介護を必要とする人には、必要なサービスを総合的に提供できるような環境整備を行っていきます。また、日常生活に支障のある高齢者を身近な地域でサポートできるように、地域のボランティア等と連携し、市民生活の安全、安心の向上に努めます。

障害のある人も地域で自立した生活を送れるよう、必要な情報を提供しながら、必要なサービスがいつでも利用できるよう障害福祉サービスの利便性の向上に努めます。

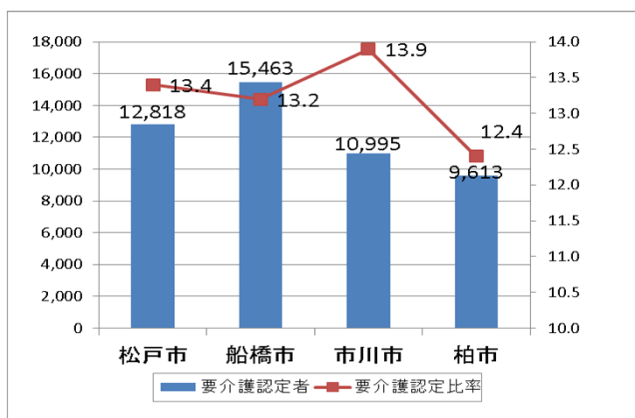
## 3. 施策を推進していく上での課題

高齢者の介護予防の取り組みの推進及び、介護保険及び障害福祉サービス利用者の増加に対応していく必要があります。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ・介護保険事業者が多く、きめ細やかなサービスが受けられます（強み）

### ●介護保険 65歳以上要介護認定比率



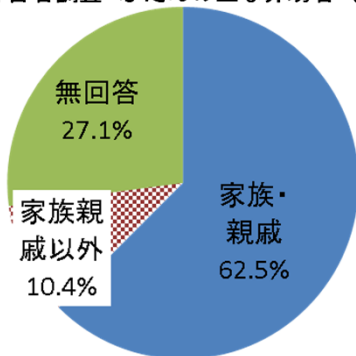
### ●介護保険施設数と定員等の状況

	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	病床数
松戸市	19	1,464	13	1,293	4	257
船橋市	15	1,179	11	981	-	-
市川市	10	818	8	900	2	131
柏市	11	759	5	500	3	199

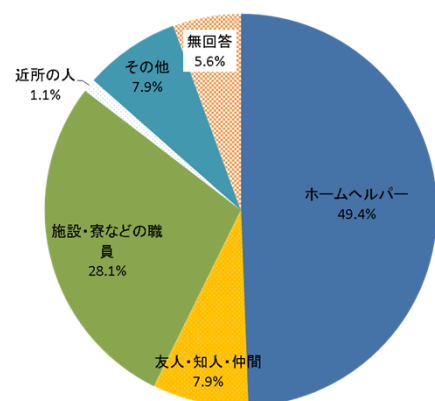
出典：千葉県総合企画部統計課「指標で知る千葉県2011(千葉県ホームページ)」  
要介護認定比率の算出方法：要介護(要支援)認定者数 ÷ 被保険者数  
(いずれも65歳以上)

出典：平成22年 千葉県衛生統計年報  
『介護サービス施設・事業所調査』

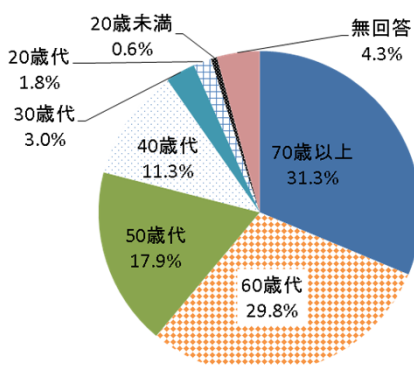
### ●障害者調査 ふだんの主な介助者（いちばん長い人）



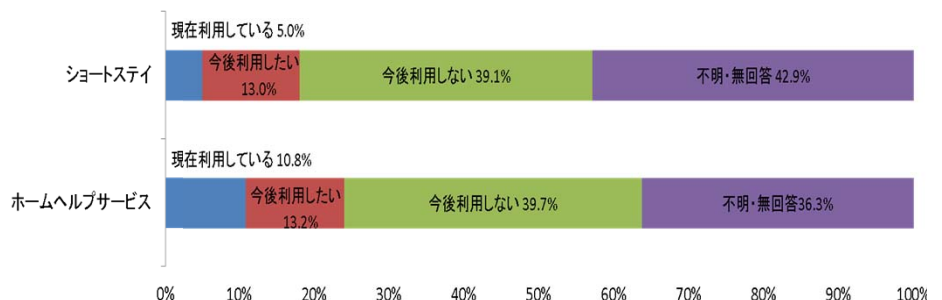
### ●障害者調査 家族・親戚以外の介助者（複数回答）



### ●主な介助者の年齢（家族・親戚）



### ●障害者調査 サービスの利用意向



出典：松戸市障害者計画策定のためのアンケート調査（平成24年3月）

# 政策5

病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします

2.必要な時に生活の援助が受けられます

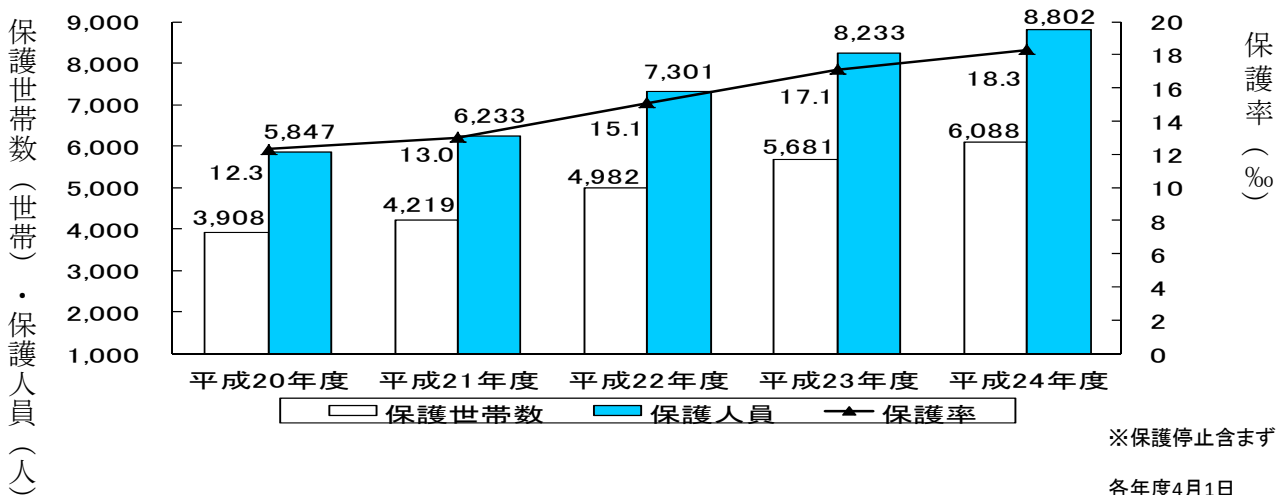
## 1. 現況と課題

生活保護制度については、近年、雇用情勢の悪化等から被保護者が増加しており、被保護者の自立支援対策が重要な課題となっています。本市では、自立支援プログラムの導入など、生活保護の適正実施に向けた取り組みをしています。また、生活保護の適用には至らない低所得者など、経済的に不安定な状態にある人に対する自立支援策も課題となっています。

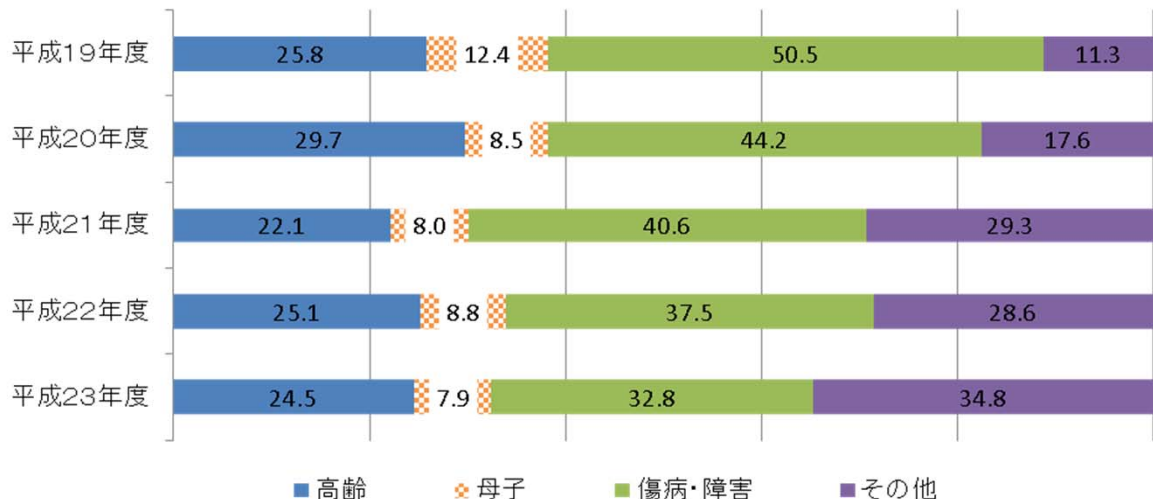
### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 就労可能な生活保護受給者が就労し、生活保護を受けないで済むことが望まれています (ニーズの減)
- ② 生活保護水準未満の生活を送る世帯が、一定の水準の生活が送れることが望まれています (ニーズの増)

### ●松戸市の生活保護世帯数・保護人員の推移



### ●松戸市の生活保護 保護を開始した世帯割合の推移



## 2. 施策の展開方向

経済的に困窮し、保護が必要なときは、生活扶助、住宅扶助、教育扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助を給付し、最低限度の生活の保障を行います。また、要保護者の自立を促すため、就労の指導や援助などを行っていきます。

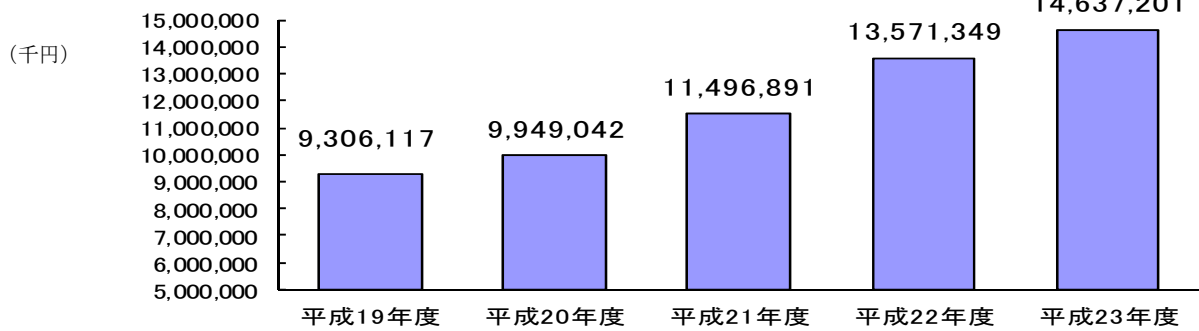
## 3. 施策を推進していく上での課題

相談者に応じた利用可能な他の施策や支援があることや、生活保護法をはじめ、関連する各種法律等の趣旨を理解してもらう必要があります。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

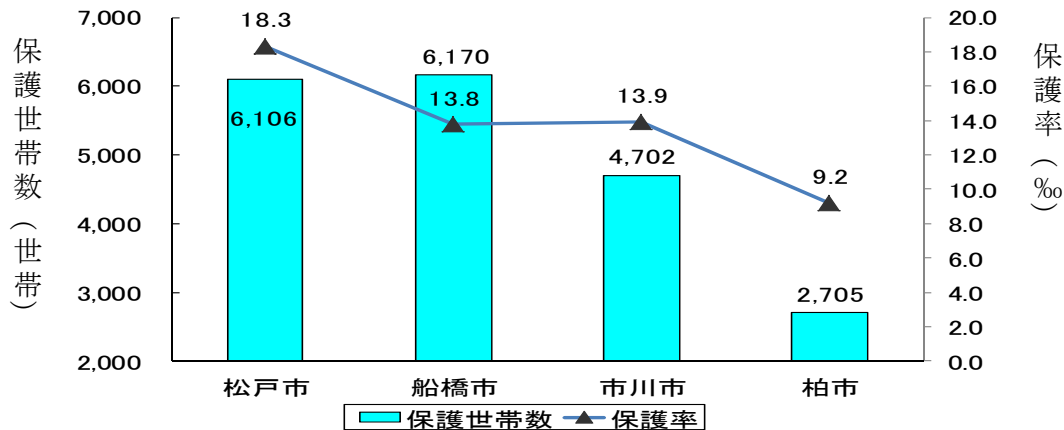
- ① 東京に隣接しているので、地方に比べると就労する場に恵まれています（強み）
- ② 被保護者、被保護世帯の割合が近隣市より高く、市の財政面からは歳入歳出ともに負の要因となっています（弱み）

### ●松戸市の生活保護費の推移



### ●近隣各市の保護世帯数と保護率

出典：生活支援一課資料



出典：生活支援一課資料(平成24年4月1日)

### ●保護の開始・廃止の状況(平成23年度)

		区分
相談件数		5,786
開始	世帯数	1,003
	人員	1,416
廃止	世帯数	597
	人員	738

出典：生活支援一課資料

# 政策5

病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします

3.必要な時に必要な人がサービスを受けられる体制を確立します

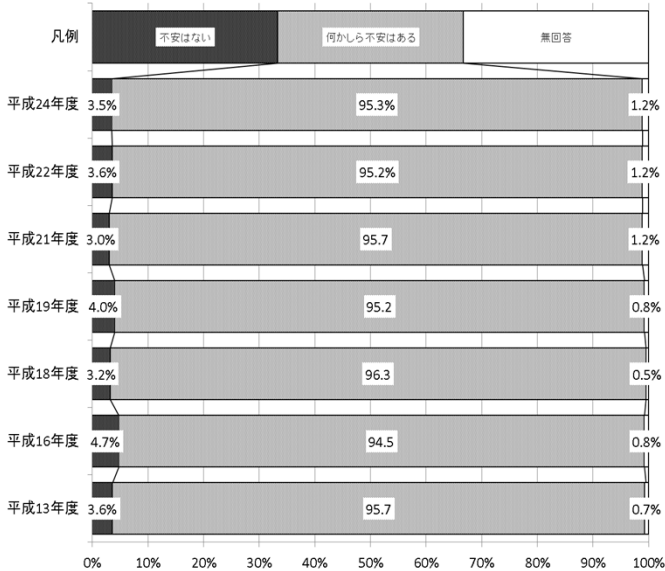
## 1. 現況と課題

市民意識調査によると、「日常生活に対して不安を感じていない人の割合」は、平成13年度3.6%であったものが平成24年度3.5%と推移しています。今後は高齢化のさらなる進展に伴い、認知症高齢者やひとり暮らしの高齢者の急増が予測されており、孤独死など新たな課題も生まれています。このような中、住み慣れた地域で、その人らしい生活を安心して継続できるためには、介護サービスをはじめ、様々なサービスを状態の変化に応じて切れ目なく提供する地域包括ケア体制の構築が必要です。

### 【特筆すべきニーズの変化】

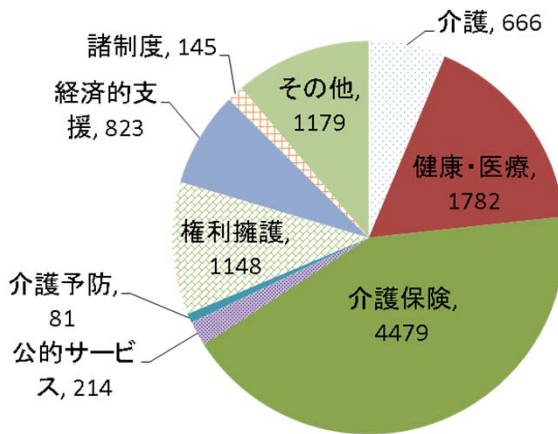
・高齢者が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしたいと思っています（ニーズの増）

### ●日常生活に対して不安を感じていない人の割合



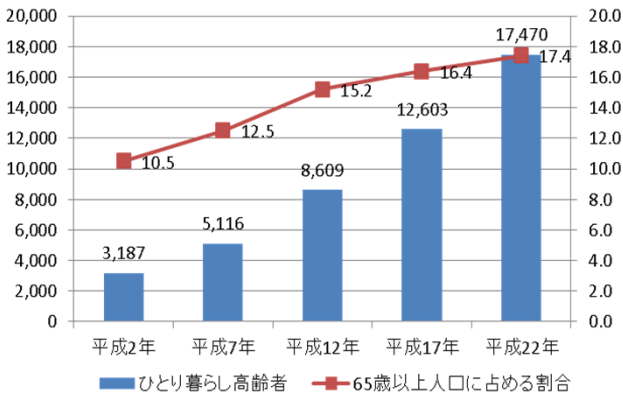
出典：松戸市市民意識調査(24年度)

### ●地域包括支援センター相談件数（平成23年度）



出典：介護支援課資料

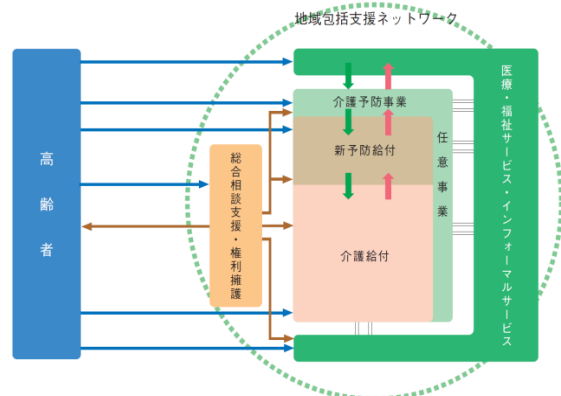
### ●松戸市のひとり暮らし高齢者数と65歳以上人口に占める割合の推移



出典：国勢調査を基に作成

### ●地域包括支援センターの基本機能

共通の支援基盤構築	地域に、総合的、重層的なサービスネットワークを構築すること。
総合相談支援・権利擁護	高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぐこと。虐待の防止など高齢者の権利擁護に努めること。
包括的・継続的ケアマネジメント支援	高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援すること。
介護予防ケアマネジメント	介護予防事業、新たな予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行うこと。



## 2. 施策の展開方向

市民が地域福祉活動を積極的に安定的に続けられるよう、松戸市社会福祉協議会による地域ぐるみの福祉ネットワーク事業などを支援します。

高齢者や家族の相談を随時、受け入れられるように、地域ケアの拠点としての地域包括支援センターとそのランチ窓口としての在宅介護支援センターの連携を強化し、支援体制を充実します。

高齢者や障害のある人などが権利を侵されることがないように、個々の日常生活に対する相談機能の充実を図り、自らが権利の主体であることを自覚し、自分の意思を表明できるよう支援します。また、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な人の権利擁護を図り、サービスの利用支援や財産管理をはじめとする、総合的な支援を充実します。

特に、ひとり暮らしの高齢者などが、安心して生活できるように、孤独死などにならない新たな支えあいを求めて、地域・NPOなどと連携を図っていきます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

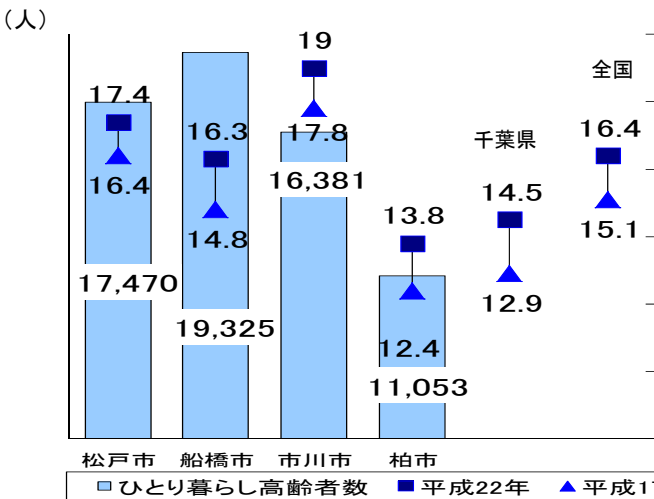
地域包括支援センターを中心として、各機関や地域が連携した地域包括ケアシステムの充実を図っていく必要があります。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① サービスの提供主体となりうる多種多様な事業者の確保が可能です（強み）
- ② 見守り活動など、公的サービスで対応困難なきめ細かいサポートを地域のボランティア等が担っています（強み）

### ●65歳以上人口に占めるひとり暮らし高齢者の割合

(国勢調査の結果をもとに作成)



出典：千葉県健康福祉部高齢者福祉課「千葉県高齢者人口統計」

### ●地域包括支援センターと在宅介護支援センターの設置数

	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	(参考) 65歳以上人口 (22国勢調査)
松戸市	3	11	100,597
船橋市	8	21	118,833
市川市	4	11	86,320
柏市	7	4	80,129

出典：各市のホームページ (H23)

### ●地区社会福祉協議会設置数

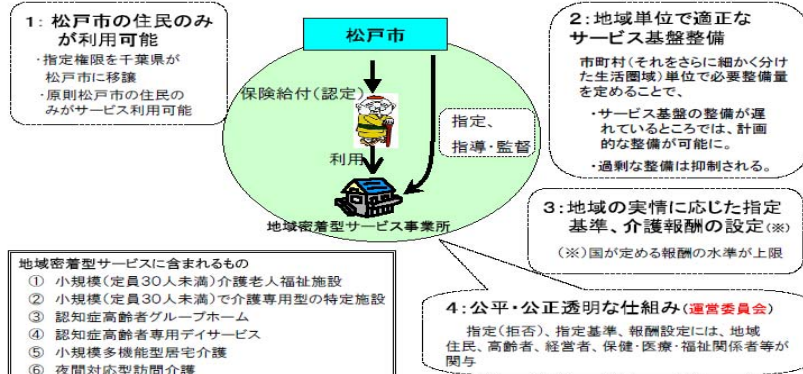
松戸市	船橋市	市川市	柏市
15	24	14	23

出典：各市社会福祉協議会ホームページ

### ●地域密着型サービスの創設

#### 地域密着型サービスの創設

要介護者等の住み慣れた地域での生活を支えるため、身近な市町村で提供されることが適当なサービス類型(＝地域密着型サービス)が18年4月に創設されました。



出典：松戸市ホームページ

### ●松戸市地域密着型サービス事業者指定状況

	箇所	定員
認知症対応型通所介護	2	24
小規模多機能型居宅介護	6	141
認知症対応型共同生活介護	30	502
夜間対応型訪問介護	1	100
地域密着型特定施設入所者生活介護	なし	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	58

平成24年4月1日現在



# 政策5

病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします

## 4. 死者を弔います

### 1. 現況と課題

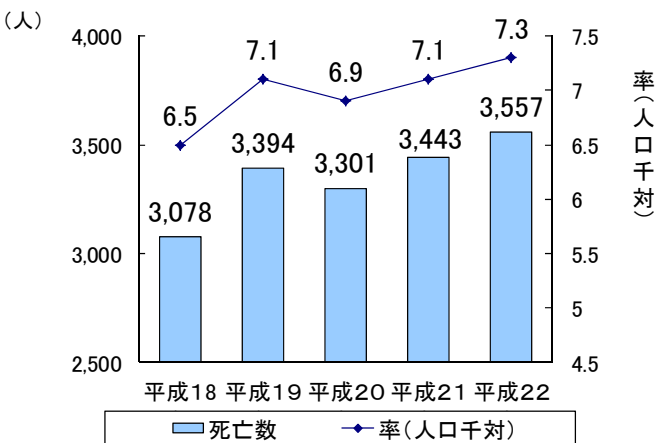
松戸市斎場は、火葬炉10基を擁する火葬施設です。斎場に併設している北山市民会館は、1階部分を会葬者待合施設、2階部分を集会施設として利用されています。

白井聖地公園は、市民の強い要望のもと白井市の協力を得て、白井市平塚地区に、6,808区画分の墓地として整備されました。平成16年度までに整備した区画分の公募が終了しましたので、現在、返還された墓地区画の再公募を実施しています。また、千葉県が行っていた墓地等経営許可事務を平成13年度から本市で担当しています。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

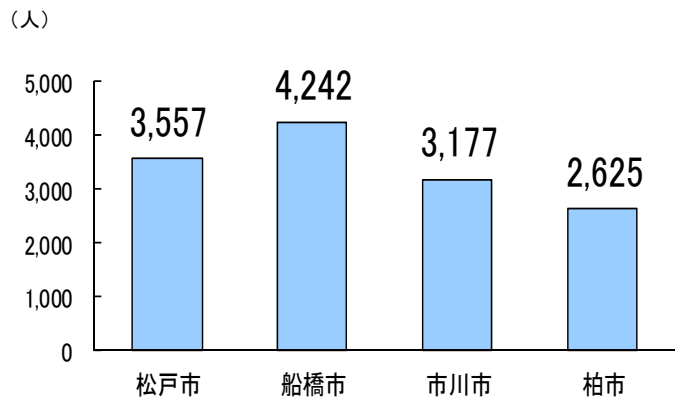
- ① 死亡数の増加に伴い、火葬炉の使用件数も増えていきます（ニーズの増）
- ② 先祖の墓地と離れた場所に暮らす人が、家族が暮らす場所に近い墓地を取得したいと望んでいます（ニーズの増）

#### ●死亡数の推移（松戸市）



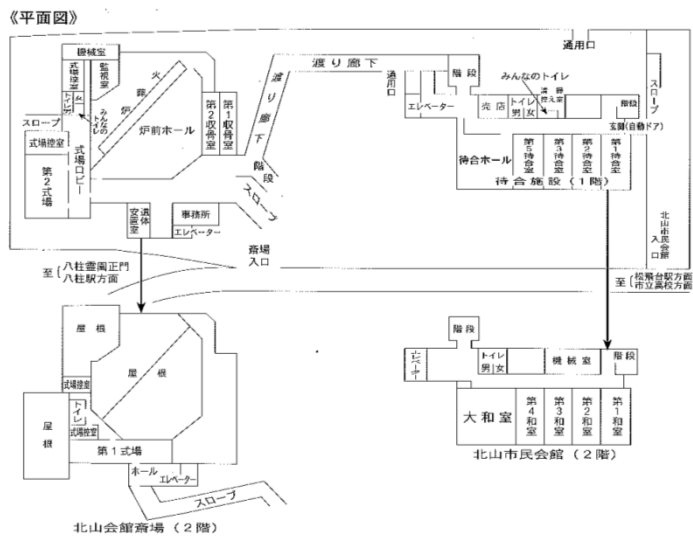
出典:「松戸市政の概要」平成23年度版

#### ●死亡数（平成22年）



出典:「千葉県統計表」市区町村別自然動態(H22年度分)

#### ●松戸市斎場



出典:松戸市斎場パンフレット

## 2. 施策の展開方向

市の斎場は、いざという時に安心して市民の方々が利用できるよう、施設の維持に努めます。そして、墓地についても適正な需要と供給の把握に努めます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

施設が老朽化していることや、増加する火葬件数に対応していく必要があります。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 松戸市単独で斎場を持っています（強み）
- ② 市営霊園を白井市内に保有するほかに、市内に都営八柱霊園があります（強み）

### ●市民葬儀制度

この制度は、市民の方にご不幸があったとき、経済的で、厳粛な葬儀ができるように、市と市の指定を受けた葬祭業者との間で内容、料金などについて協議のうえ実施しているものです。

<b>利用資格</b>	施主または死亡者が松戸市民で、市内で行う葬儀
<b>内容</b>	この制度で利用できる祭壇の種類と料金は下表のとおりです。 ※ただし、火葬料・霊柩自動車・式場利用料・読経料・飲食に係る経費（税）等が別途かかります。 お申し込みの際、取扱店へお問い合わせください。

#### 祭壇の種類と料金

種類	A・5段飾り	B・3段飾り	C・3段飾り
料金	84,000円	52,500円	39,900円
セット料金	162,225円		
合計金額	246,225円	214,725円	202,125円

#### セット料金に含まれるもの

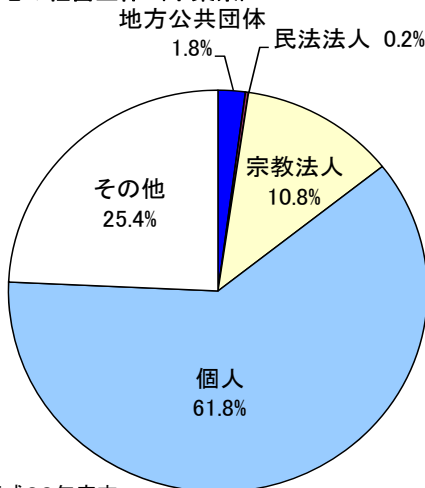
棺（一式）、遺影写真、（白黒）、礼状（100通）、ドライアイス（1回分）、盛菓子一対、司会進行（通夜・告別式）、後飾り一式、マイクロバス、（1台）、納骨容器

#### 霊柩自動車使用料

市民 8,500円 市民以外の者 17,000円

出典：松戸市ホームページ

### ●墓地の経営主体（千葉県）



平成22年度末  
出典：厚生労働省「衛生行政報告例」

### ●近隣市の斎場

	斎場名	エリア
松戸市	松戸市斎場	松戸市
船橋市	馬込斎場	船橋市 習志野市 八千代市 鎌ヶ谷市 (四市複合事務組合)
市川市	市川市斎場	市川市
柏市	ウイングホール柏斎場	柏市 流山市 我孫子市 (東葛中部地区総合開発事務組合)

出典：各市ホームページ

### ●市営霊園の有無等

	霊園名	所在地	霊堂 (納骨堂)	その他
松戸市	白井聖地公園	白井市	なし	
船橋市	馬込霊園	船橋市	あり	
	習志野霊園		あり	
市川市	市川市霊園	市川市	あり	合葬式墓地あり
柏市	なし			

出典：各市ホームページ

### ●松戸市営白井聖地公園の概要

場所	千葉県白井市平塚759番地	
面積	8.8ヘクタール	
区画数	普通墓地	4,196区画
	芝生墓地	2,612区画
駐車場	常設	29台
	臨時	190台
	合計	219台
開門・閉門時間	通常日	午前9時～午後4時30分
	お盆・お彼岸	午前8時30分～午後5時30分

出典：松戸市議会事務局「松戸市政の概要 2008」